



# 大妻が歩んできた110年の歴史と現在を感じにでかけませんか？

地域イベントにも積極的に参加しています！



千代田のさくらまつり

数々のさくらの名所を有する千代田区が3月に行う「さくらまつり」。その一環として、大妻女子大学では「大妻さくらフェスティバル」を開催。地域交流を深めるダンスや音楽などのパフォーマンスや、「地域連携プロジェクト」などの活動報告会を行います。



滝廉太郎居住地跡

「鳩っぽ」お正月「荒城の月」「雪やこんこん」などの名曲を作った滝廉太郎の住居跡地。この地で多くの作品が生まれました。



国立劇場

歌舞伎、文楽、能、狂言、民謡芸能、日本舞踊、落語などを上演する国立劇場。芸能に関する資料を閲覧できる視聴室もあります。



千鳥ヶ淵公園

皇居の北西側にあるお堀・千鳥ヶ淵沿いにある公園です。緑道内にはボート場があり、お堀でボートが楽しめます。



迎賓館

外国の国王や首相などの賓客を迎え入れるための迎賓施設。日本で唯一のネオ・バロック様式による宮殿建築物の美しさに魅了されます。



ウォールアート

創立者・大妻コタカが可愛がった「猫」と、校章のモチーフである糸巻の「糸」のデザインにより、大妻通りを通行する人に創立110周年をアピールすることを目的としています。「Instagram」等のSNSによる情報拡散も意図しています。半蔵門方面から柱の糸を辿っていくと、本館館銘板の上を散歩する猫に辿り着きます。  
【デザイン】中野希大 准教授 (社会情報学部社会情報学科情報デザイン専攻)  
【期間】2018年4月～12月  
【場所】本館E・F棟および大学校舎G棟の外壁および柱 (大妻通り側)

プロジェクションマッピング「KOTAKA」

もの作りの中に生活の哲学を込めたコタカ先生の足跡を、大妻の原点でもある裁縫・手芸に関する作品を通して、本学の歴史や魅力とともに追体験できる映像作品です。

【日程】10月27日(土)・28日(日)※予定  
【場所】F棟地下1階アリーナホール前



G棟アクティブラウンジ (THE HERTFORD ROOM)

本学と英国の名門オックスフォード大学ハーフトードカレッジとの友好を記念して愛称がつけられました。



図書館棟

蔵書数は約214,000冊で1階から4階まで、さまざまなジャンルの本が並びます。ビデオ・DVD・CDの視聴もできます。



学生食堂 kotacafé

創立者・大妻コタカの名にちなんで名づかれた学生食堂。女性とその同伴の小学生以下のお子様にも一般開放しています。



アトリウム

天窓から光が降りそそぐ開放的な吹き抜けの大空間フロア。カフェテリア形式の学生食堂も併設されています。



大妻講堂

4階までの吹き抜けで、高さ8.5mのバイブオルガンが設置されています。客席は1203席あり、学校行事などで使用します。



大妻女子大学博物館

博物館のテーマは「大妻コタカと大妻教育」で、創立者大妻コタカの遺品も展示。地域に根ざした情報を発信しています。

## 110th Anniversary 千代田キャンパス Pick Up Events

### 講演会 千代田キャンパス連続講演会「知舞い学踊る。大妻の空、大妻の夏。」

第1回  
【日 時】7月7日(土) 13:00～14:30  
【内 容】発明された伝統-ポスト美術館と今は失われた室内日本庭園の謎  
【講演者】宇沢美子 氏 (慶應義塾大学教授)



第2回  
【日 時】7月14日(土) 13:30～15:30  
【内 容】書の世界  
【講演者】松岡正剛 氏 (編集工学研究所所長、イシス編集学校校長)



【内 容】現代の博物館  
【講演者】荒俣宏 氏 (作家)



第3回  
【日 時】7月21日(土) 13:00～14:30  
【内 容】21世紀・社会の終り(1)  
【講演者】宮台真司 氏 (首都大学東京教授、社会学者、映画批評家)



第4回  
【日 時】7月28日(土) 13:00～14:30  
【内 容】ロマン的魂と商業  
【講演者】鹿島茂 氏 (フランス文学者、明治大学教授)



第5回  
【日 時】9月15日(土) 15:00～16:30  
【内 容】うつしこ-ディオティマ、または化粧される宇宙  
【講演者】真行寺君枝 氏 (女優、アーティスト)



第6回  
【日 時】9月22日(土) 15:00～16:30  
【内 容】迷宮と宇宙  
【講演者】安藤礼二 氏 (文芸批評家、多摩美術大学教授)



第7回  
【日 時】11月3日(土) 15:00～16:30  
【内 容】パラノイドの帝国  
【講演者】関孝之 氏 (慶應義塾大学教授)



### イベント 4中高合同式典開催

【日 時】6月17日(日) 12:30～16:30

【場 所】大妻講堂

【内 容】  
<第1部 講演>  
講演者: 開成中学校・高等学校 校長 柳沢幸雄 氏



<第2部 附属4中高のクラブによる披露会>  
マンドリン部 (大妻中学高等学校) / 弦楽部・吹奏楽部・合唱部 (大妻多摩中学高等学校) / 英語劇 (大妻嵐山中学校) / ノバトフリング部 (大妻中学高等学校) ※全国入賞 / 合唱部 (大妻中野中学校・高等学校) ※全国金賞

【内 容】現代の博物館  
【講演者】荒俣宏 氏 (作家)

【内 容】21世紀・社会の終り(1)  
【講演者】宮台真司 氏 (首都大学東京教授、社会学者、映画批評家)

【内 容】ロマン的魂と商業  
【講演者】鹿島茂 氏 (フランス文学者、明治大学教授)

【内 容】うつしこ-ディオティマ、または化粧される宇宙  
【講演者】真行寺君枝 氏 (女優、アーティスト)

【内 容】迷宮と宇宙  
【講演者】安藤礼二 氏 (文芸批評家、多摩美術大学教授)

【内 容】パラノイドの帝国  
【講演者】関孝之 氏 (慶應義塾大学教授)

【内 容】大妻女子大学の可能性と未来への展望を拓く

【日 時】7月14日(土) 14:00～17:00  
【内 容】女子大学は今その存在意義と使命が問われています。女子学生が主人公である女子大学が持つ可能性を探ります。

<基調報告1>「女子高等教育とジェンダー」  
報告者: 伊藤直正 学長 (大妻女子大学)  
<基調報告2>「21世紀における女子大学のコア・バリューズ～セブンス・スターズにおける二つの「共学」論争を通して考える～」  
報告者: 高橋裕子 学長 (津田塾大学)

【内 容】「オリリンピックの聖火：オリンピアから日本へ」

【日 時】9月14日(金)～9月23日(日)  
【内 容】1936年から2018年にかけて実際に使用された夏季・冬季オリンピックの一式36基と、2004年オリンピック採火式で着用された巫女ドレス1点を展示します。

9月16日(日)オリリンピックに関する講演  
講師: 原研二 教授 (比較文化学部長)  
※期間中千里山大使館員によるギリシャ紹介講演会を予定

【内 容】「家政学の魅力」  
「家政学」から「英語英文学科」へ

### シンポジウム 「世界の中の日本と女子教育、世界の中の自分、これからの暮らしと仕事について深く考える」

第1回  
【日 時】9月15日(土) 13:00～14:30

【内 容】世界の中の日本-これからの女子教育

祝辞: Paul Madden CMG(駐日英国大使)

ビデオメッセージ: Will Hutton 氏 (Hertford College, Oxford 学長)

【シンポジスト】堀川芳子 氏 (日本女子大学前理事長・学長)

Alison Beale 氏 (Oxford大学日本事務所代表)

伊藤直正 (大妻女子大学学長)

第2回  
【日 時】12月15日(土) 14:00～16:00

【内 容】コタカの理念を实践する女たち-「男女雇用機会均等法」以前から社会で貢献した「良き職業人」、家族三代を継ぐ「良き家庭人」

【シンポジスト】南 砂 氏 (読売新聞東京本社勤務取締役調査研究本部長)

村木厚子 氏 (元厚生労働事務次官)

屋敷和子 氏 (日本航空執行役員・東京空港支店長・JALスカイ社長)

井上美沙子 氏 (大妻女子大学副学長)

【内 容】「短大の現在・過去・未来」

【日 時】10月13日(土) 13:00～

【場 所】大妻講堂

【内 容】  
<Part 1>ビデオ上映と説明  
「各学科・専攻の魅力」

<Part 2>講演「コタカ先生の教え」

<Part 3>パネルディスカッション「企業から見た大妻の短大生」

<Part 4>在学生によるプレゼンテーション・コンテスト「大妻短大の未来」

【内 容】英文学科ホームカミング開催

「世界に貢献できる女性をめざして」

～「英文学科」から「英語英文学科」へ～

【日 時】10月20日(土) 15:00～18:50

【場 所】大妻講堂

【内 容】大妻講堂

学生による学科紹介

卒業生によるパネルディスカッション

「世界に貢献できる女性をめざして」～「英文学科」から「英語英文学科」へ～

### イベント コミュニケーション文化学科主催 映画「ザ・トゥルー・コスト」上映会とサステナブルな生産と消費に関する講演会

【日 時】10月27日(土) 13:00～15:30

【内 容】  
<映画上映会>  
「ザ・トゥルー・コスト～ファストファッション 真の代償」

<講演会>  
「世界を幸せにするエシカルな生産と消費」(講演者: 末吉里花 氏 (一般社団法人エシカル協会代表理事))

【日 時】10月27日(土) 13:00～15:30

【場 所】大妻女子大学博物館

【内 容】北見氏の書籍「教える道をひとすじに大妻コタカ物語」と「昭和トラベラー」(小学館刊)をもとに昭和を振り返ります。

【日 時】11月10日(土) 13:00～14:30

【場 所】大妻女子大学博物館

【内 容】北見氏の書籍「教える道をひとすじに大妻コタカ物語」と「昭和トラベラー」(小学館刊)をもとに昭和を振り返ります。

【日 時】11月17日(土) 17:00～18:30

【場 所】大妻講堂

【演者】エイドリアン・パーティントン 氏 (グロスター大聖堂オルガン奏者)

【内 容】地域貢献・社会貢献を目的に、イギリスの著名な演奏家を招いてのバイオルガンコンサートを開催します。日本の名曲を含めた曲目を演奏予定

【日 時】11月24日(土) 13:30～15:00

【講演者】JAXA宇宙飛行士 金井宣茂 氏

【内 容】国際宇宙ステーション (ISS) 第54次/第55次長期滞在クルーとして、168日間宇宙に滞在し、6月3日に帰還した金井宇宙飛行士のミッション内容などについての講演。

※記念講演会へのご参加は事前申し込みをお願いする予定です。詳細は、10月下旬に本学ホームページにてお知らせします。

### 講演会 創立110周年×大妻国文学会50周年記念行事「日本文学・世界との窓」

【日 時】12月8日(土) 13:30～

【内 容】  
<第1部 講演>  
講演者: 遠矢柔 氏 (作家)

<第2部 トークセッション>  
日本語と日本文学という「窓」から見た「世界」を語る。

登壇者: ツベタナ・クリステフ 氏 (国際基督教大学教授、日本文学)

きむ・ふな 氏 (翻訳家、日本近代文学・韓国近代文学研究者)

ファリエロ・サリス 氏 (翻訳家、日本近代文学研究者)

【日 時】12月8日(土) 13:30～

【場 所】大妻女子大学博物館

【内 容】大妻女子大学の研究と教育の今を、社会に向けて発信することを目的としています。

◆フェアートレード・オーガニック・コットンバッグの制作・販売・売上寄付(コミュニケーション文化学科)

企業と協力してフェアートレード・オーガニックコットンを使用したトートバッグのデザインや制作、販売を行い、売上を開発途上の貧困削減などを目的とした国際協力団体に寄付します。

◆短編小説コンクール「女子高校生青春文学賞」の実施(社会情報学部)

新しい時代を生きた十代の女性の活字文化と文学への関心を探ることを目的に、女子高校生を対象とした短編小説コンテストを実施します。

<応募要項>  
【受付期間】2018年6月1日(金)～8月31日(金)※当日消印有効

【部門】短編小説

【応募資格】女子高校生 (国籍は問いません)

【発表】2018年11月未予定 (本人への通知及び本サイトに掲載します)

◆社会情報学部シンボルマークの制定

社会情報学部のシンボルマークを制定します。

【デザインコンセプト】「やわらかく流れる形態は、変化する情報社会に柔軟に対応する学びの場であることを、またシャープさは、科学と私たちの知性と理性を表現しています」

【デザイン】中野希大 准教授 (社会情報学部社会情報学科情報デザイン専攻)

【日 時】11月24日(土) 13:30～15:00

【講演者】JAXA宇宙飛行士 金井宣茂 氏

【内 容】国際宇宙ステーション (ISS) 第54次/第55次長期滞在クルーとして、168日間宇宙に滞在し、6月3日に帰還した金井宇宙飛行士のミッション内容などについての講演。

※記念講演会へのご参加は事前申し込みをお願いする予定です。詳細は、10月下旬に本学ホームページにてお知らせします。

### その他の記念事業

◆大妻ブックレット制作

大妻の今の現在-大妻女子大学の研究と教育の今を、社会に向けて発信することを目的としています。

◆フェアートレード・オーガニック・コットンバッグの制作・販売・売上寄付(コミュニケーション文化学科)

企業と協力してフェアートレード・オーガニックコットンを使用したトートバッグのデザインや制作、販売を行い、売上を開発途上の貧困削減などを目的とした国際協力団体に寄付します。

◆短編小説コンクール「女子高校生青春文学賞」の実施(社会情報学部)

新しい時代を生きた十代の女性の活字文化と文学への関心を探ることを目的に、女子高校生を対象とした短編小説コンテストを実施します。

<応募要項>  
【受付期間】2018年6月1日(金)～8月31日(金)※当日消印有効

【部門】短編小説

【応募資格】女子高校生 (国籍は問いません)

【発表】2018年11月未予定 (本人への通知及び本サイトに掲載します)

◆社会情報学部シンボルマークの制定

社会情報学部のシンボルマークを制定します。

【デザインコンセプト】「やわらかく流れる形態は、変化する情報社会に柔軟に対応する学びの場であることを、またシャープさは、科学と私たちの知性と理性を表現しています」

【デザイン】中野希大 准教授 (社会情報学部社会情報学科情報デザイン専攻)

◆記念刊行物の発行「新たな『研究の大妻』ブランドを目指して: 大妻女子大学人間生活文化研究所の研究と歴史」

創立110周年を迎え、人間生活文化研究所の来し方と行く末を見直し、これまでの研究活動、研究者、研究業績を振り返り「新たな『研究の大妻』ブランド」を目指し記念誌を刊行します。またこの事業に加えて博物館における国立民族学博物館との共同開催特別展と関連する学会を同期して開催します。

◆スクールキャラクター「おーたん」の着ぐるみ製作

スクールキャラクター「おーたん」の着ぐるみを製作します。製作した着ぐるみは各種イベント等で活用し、本学のプロモーション活動に参画・貢献します。

<参加予定イベント>  
大妻祭、スポーツフェスティバル、オープンキャンパス など

◆世羅茶ティーバッグ制作

創立者・大妻コタカの出身地である広島県世羅町のお茶「世羅茶」を使った「大妻限定世羅茶ティーバッグ」を制作するとともに、制作に関連したイベントを複数回開催する予定です。

◆110人メッセージ集の作成

卒業生を含む各界で活躍する著名人110人の方のメッセージ集を作成します。人生100年時代を生きていくために、110周年記念の節目だからこそ、この先を生きていくための前向きなキャリアや生き方を考えるヒントを提供していきます。

大妻女子大学社会情報学部